

桜の花もちらちら咲き始めました。

息子は、ホアレンツィキャンプの先生方に支えられ、無事、第一志望の
高校に合格する事ができました。

本当にありがとうございます。

先日、高校入学の説明会に息子と2人行って来ました。

途中、息と切らしながら長い坂を登る私を、

先に登ってはふり返って待ら、登っては待つ息子に

「大きくなったなあ」としみじみ思いました。

ふり返れば、不登校の後の出来事は、無我夢中。

あ、という間の事でした。

成り行きもなく、見守るだけの不登校の期間は、

あまりにも辛く、今、思い出しても、もやもやがかったように

一つ一つが良く思い出せません。

「ただ、ただ、辛く、苦しく、何をしても、うまく行かない」

真暗闇でした。

そんな時、ホアレンツィ・キャンプに出会い、お電話を差しあげました。

やっと、私達親子に寄り添っていてくれる人に出会えたと思ひ、

先生に、泣きながら、話を聞いてほしいとお願いしました。

その時は、これからどうなるのか、どうすればいいのかわからず

私には、この辛い気持ちを共有してくださる人ができ、

ホッとして、それだけで、救われた気持ちになったのであ。

しかしながら、先生は、その時から、「復学、継続登校」という
道のりを計算され、その可能性を真剣にみられるのでした。

支援を受けると決まると、おぐに、先生から、きめ細かい指導が
始まりました。

それは何が何にわかからず、でも暗闇の中の一筋の光が
そこにあると言じて、ついて行きました。

あれよあれよという間に復学、先生の綿密に練られた
計画通りに継続登校、受験のための塾導入等、
順調に事が運びました。

時は息子の心が折れそうになった事もありましたが、
その間に、先生が息子を支えて下さり、乗り越える事ができました。

ある日おぐが「こんな事になっしまいました」と報告すると、
先生は、しばらく考えられた後、「今から行きます」と。

長い長い道のりと、車をとほして来て下さった事もしました。

息子としばらく話を交わして、先生が帰られた後の、

息子のガッパリした顔を見ると、

「先生は、何を話されたんだろう」と思い、又、安心しました。

今から思えば、この頃、おぐは、落ち穴に落ちていたと思えます。

「先生に任せおけば大丈夫」と...

そんな時、先生から、

「まだまだ過干渉である、そんな事では、高校でも同じ事が
起きるよ」と指摘されました。

「家庭教育は、お達、親の問題で、お達が成長しないから
ならない。お達親の成長が追いつかない今だけ、

先生方が息子とフォローして下さっている」という事を。

わかって、実践しているつもりでしたが、甘えがあったのでしょう。
改めて、一から勉強するつもりで、本を読み直し。
ノートも、自分の考えもていねいに記入するように心がけました。

そして、高校受験、合格と手に入れました。
今、ホアレンツキャンプと卒業するにあたり、私には不安もあります。
しかし、これが、第二の落とし穴なんじゃないかと思っています。

息子は、本当に良くがんばったと思います。
同様に、私もホアレンツキャンプから自立して、主人と2人で
学んだ事と実践する時なんでしょう。
先王方に指導と学んだ事を、記入したメモ、
「X印のところに書いたノートと財産に、同じあやまちと
くり返さない様、がんばります。

A-Xのドラえもんが
ドラえもんが未来に帰る前夜、ジャイアンに殴られるのビデオが
「ぼくはITの力できみに勝つな」と、ドラえもんが安心して
「帰れないんだ」と言っ、POPOIになりながら戦うシーンがあります。
今、私は、そんな気持ちです。

高校への坂道と、私の前を力強く登る息子の後ろ姿に、
「私も負けられない。Xの落とし穴もクリアしよう」と思いました。

先王方、本当に、本当にありがとうございます。
先王方の益々のご活躍と、健康を祈り申し上げます。

2013年 3月 30日